

美術館だより

植田正治写真美術館企画展
「内なる風景 軌道帰帰」

今展では植田正治が一九八四年から一年間にわたり撮影したシリーズ「軌道帰帰」を中心に紹介しています。一九八四年に日本ポラロイド社から発売されたポラロイド三十五ミリオートプロセスシステムを使用し撮影されたこれらの作品群は、撮影して自分ですらその場ですぐに現像することができ、好奇心旺盛な植田の遊び心を刺激しました。日常の風景を被写体に、無言の対話を繰り返すかのようにして

写し出された作品の数々は、植田の内面が写し出された「もうひとつの風景」として描き出されています。

(～四月十六日まで)

東京都で開催された
「植田正治・写真の作法」展

東京都写真美術館(目黒区)で平成十七年十二月十七日から二月五日まで、特別企画展「植田正治・写真作法」僕たちはいつも植田正治が必要なんだ!」が開催されました。この企画展では、戦前期の作品から一九五〇年代を代表する「砂丘」シリーズや「童暦」シリーズ、そして一九七〇年代の「小さい伝記」や「風景の光景」など、「植田調」と

称された代表的な作品を中心に、ヨーロッパで撮影された「音のない記憶」のシリーズ、「静物」などのカラー作品、そして代表作の陰に隠れてあまり注目されてこなかった作品など、一八四点の作品が展示されました。

期間中二万四千六人の入場者を記録し、作品はもちろんのこと、写真家・植田正治の生き方や、地元山陰での撮影にこだわるスタイルなどに関心が寄せられ、国内での再評価が高まっているよつでした。

お問合せ

植田正治写真美術館

電話 三九 八〇〇〇

定休日 火曜日

植田正治関連書籍

『植田正治写真集・吹き抜ける風』



「植田正治・写真の作法」展開催に関連して作られたこの写真集は、植田調のモノクロプリントの絶妙感を再現するために開発されたオリジナル特色《UEDAグレー》を使用し、ダブルトーンで仕上げたものです。

発行：(株)求龍堂 仕様：版型B5変形型
総図版点数：126点(モノクロ作品113点、カラー作品13点)
定価：¥3,150円(税込)

児童書『たくさんのふしぎ／かくれんぼ』



植田正治の作品を使って作られた児童向けの写真絵本。植田正治の写真に絵本作家・岩瀬成子さんの詩的な文章が綴られています。

発行：(株)福音館書店
誌名：「たくさんのふしぎ」2005年12月号
タイトル：かくれんぼ 定価：¥700円(税込)
両出版物とも、当館ミュージアムショップでも取り扱っています。

平成17年度文化講演会

演題 『長者原開発と吉持家』



日時 平成18年3月5日(日)

開場 午後1時00分

開演 午後1時30分

場所 溝口公民館 大会議室(3F)

講師 岡田 昌孫 氏

南部町文化財保護審議会会長

入場無料

主催 伯耆町文化振興会 共催 伯耆町・伯耆町教育委員会